

## 訃 報 — 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平瀬 巧 殿(農業・総合技術監理部門)

平成 23 年 8 月 11 日逝去 69 歳

巧 衛 殿(上下水道部門)

平成 23 年 6 月 8 日逝去 89 歳

小野 潤一 殿(農業部門)

平成 23 年 8 月 12 日逝去 78 歳

## ■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

3.11 に発生した東日本大震災から半年以上を経過しました。この震災によりお亡くなりになられた方々には謹んで哀悼の意を表します。また、被災されて、今なお不自由な生活を余儀なくされている方々におかれましても心よりお見舞い申し上げます。

この度の震災で多くの教訓が得られましたが、これほどの大津波を目の当たりにしますと、ハード整備の限界を感じずにはいられません。一人ひとりが日頃から、災害に対する「防災力」を身に付けておくことが極めて重要だと感じます。殊、津波に関しては、「何をさておき、自分自身が津波の到達しない高所まで逃げる！」ということを経験に刷り込ませる必要があると思います。ご存知の方もたくさんいらっしゃると思いますが、岩手県釜石市では「津波でんでんこ」という言葉があります。「てんでばらばらに、家族のことさえ気にせず一人で避難せよ。」という意味ですが、その言葉の裏には「家族がそれぞれに避難していることを信じあえていれば、いざというときに、各人が避難することに専念できる。」という意味が込められているそうです。このような防災意識が、北海道の沿岸部に住む方々にも広く浸透していくことを強く願わざるにはいられません。

さて、本号においても、巻頭言及び、第 38 回技術士全国大会(東京)、北東 3 地域本部、北海道スタンダード研究会、北方海域技術研究会、道央技術士会の各報告にて、東日本大震災に関する話題が盛り込まれています。技術者の視点からの考察が加えられているものもあり、大変興味深い内容となっておりますので、是非ともご一読賜りますようお願いいたします。ガンバレ日本！ ガンバレ東北！

広報委員会 阿部正明